

旭川赤十字病院 救命救急センター



道北における救急医療の拠点として、最先端の医療機器と経験豊かなスタッフが、24時間体制でみなさまの救命をサポートしております。

旭川赤十字病院 救命救急センターのあゆみ

1978年 救命救急センター 開設

1989年 病棟増改築、ER移設

1990年 救急外来 専従看護体制

救急病棟 ICU/CCU病棟 看護詰所独立

1999年 全国救命救急センター評価：Bランク

2000年 救命救急センター ホットライン(専従医)体制整備

2001年 全国救命救急センター評価：Aランク

2001年 Strokeセンター(SCU) 併設

2008年 新病棟・救命救急センター 完成

2009年 道北ドクターヘリ事業 開始



センター スタッフ (R5.1.31現在)

< 専門医 >

- ・ 日本救急医学会専門医 2名 (小林、川田)
- ・ 日本集中治療医学会専門医 3名 (小林、飛世、川田)



☆ この他に、麻酔科・救急科医師18名をはじめ患者さんの病態に応じて、各科医師が24時間体制で診療にあたっております。

< 看護スタッフ >

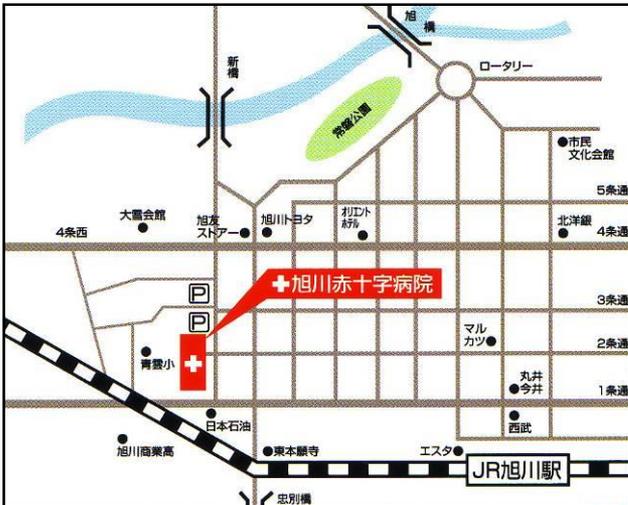
- ・ ER / HCU 50名
 - ・ ICU / CCU 27名
 - ・ SCU 44名
- (R5.1.31現在)

< 病床数 >

- ・ ER ストレッチャー 6台
- ・ HCU 20床
- ・ ICU / CCU 3/3床
- ・ SCU 24床

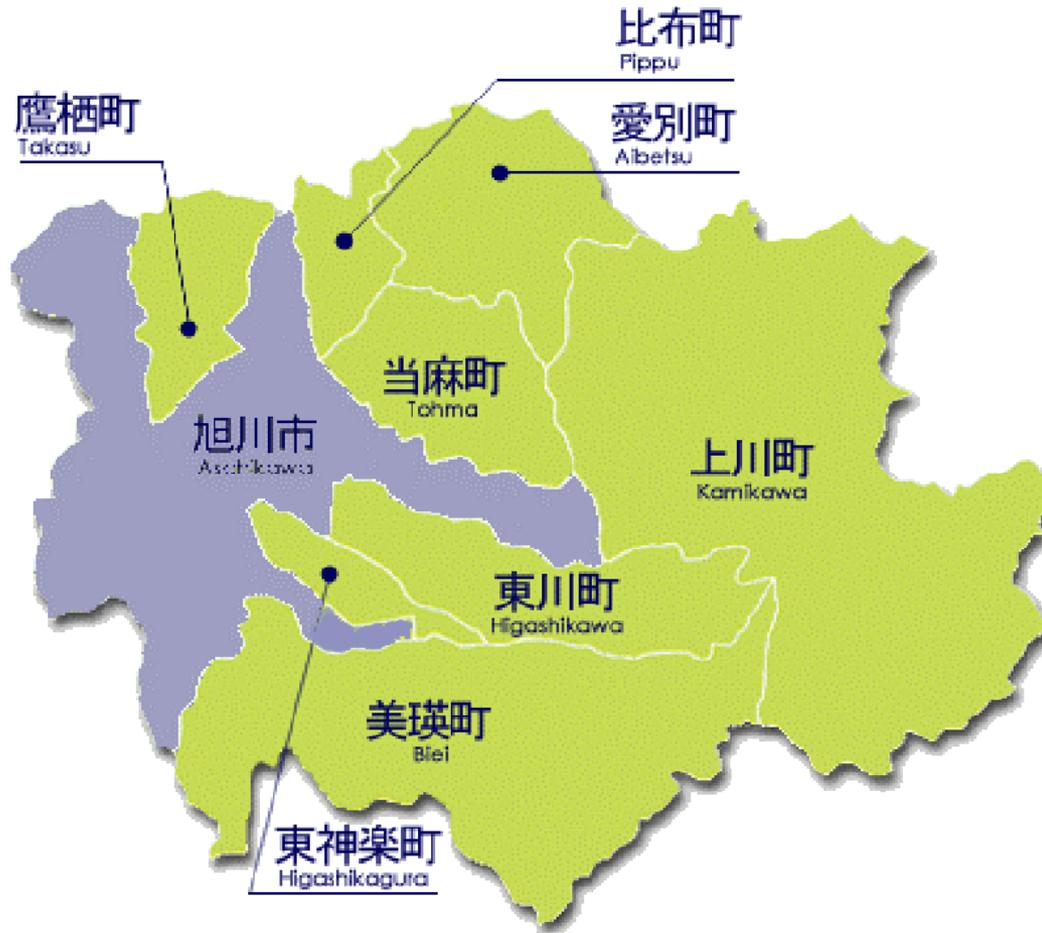


道北圏 (人口約62万人) 救命救急の中核病院

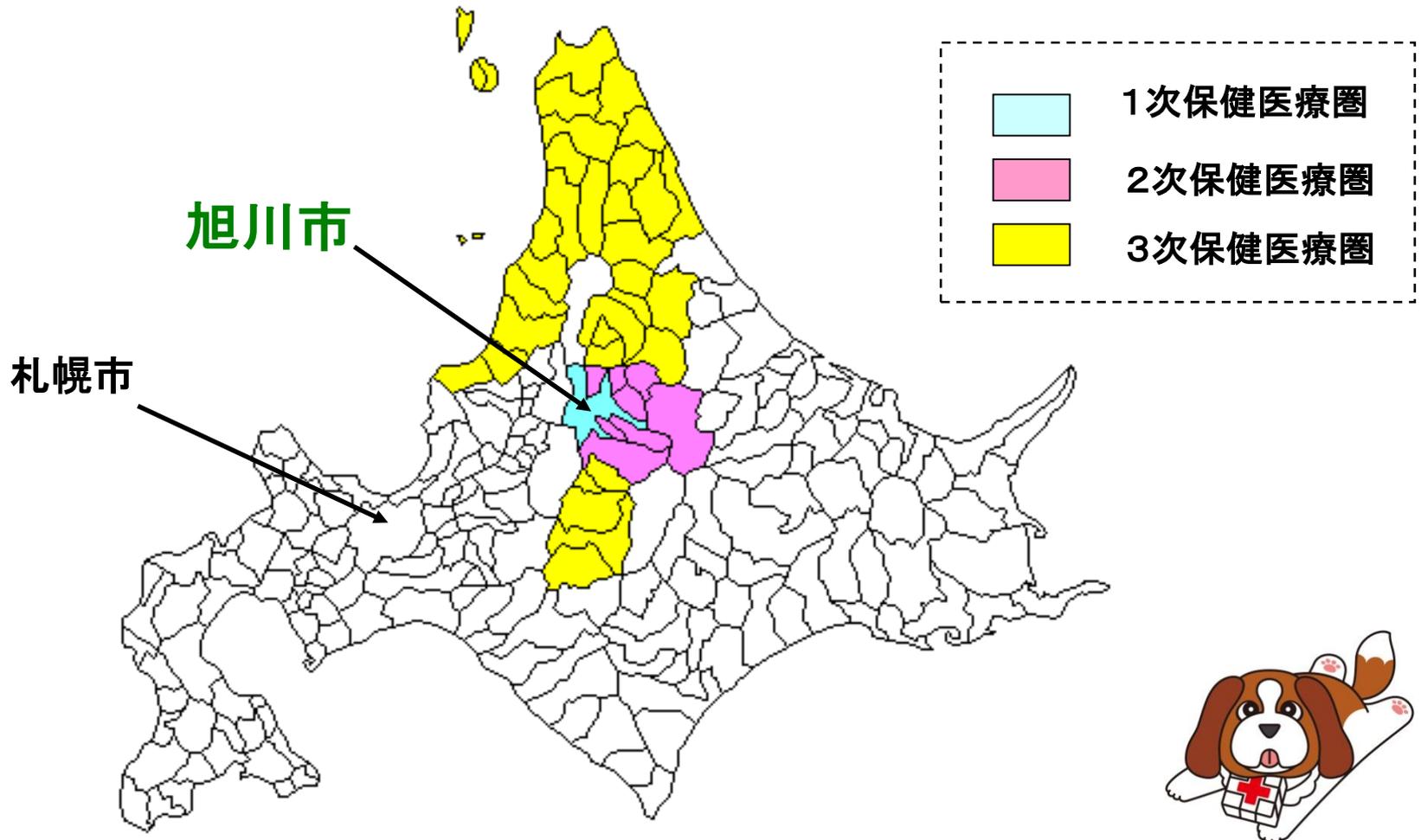


病院は旭川市の中心部に位置している

2次医療圏(人口約40万人)から傷病者を受け入れている



救命救急センターとして、3次医療圏もカバーしている



救急患者の受け入れ実績

- ◆ 救急外来患者延数 8,736人/年
- ◆ 救急車搬送受入台数 4,486台/年
- ◆ CPA患者受入数 221人/年
(令和3年度)



Hot Line



救急外来 (ER)



屋上ヘリポートからの傷病者受け入れ風景



同時に2名の蘇生処置
を可能とする最新設備



ACS、低体温、薬物中毒等による
CPA症例では、救命のために
PCPSを回すこともある



24時間対応の画像診断と検査部門 1

マルチスライスCT装置



320列エリアディテクターCT 1台
64列マルチスライスCT 1台

ERに隣接したレントゲン撮影室



撮影の数分後には、画像が電子カルテに反映される



24時間対応の画像診断と検査部門 2



MRI撮影装置



血管撮影装置



MAGNETOM Skyra 3T
MAGNETOM Avant 1.5T
MAGNETOM Symphony1.5T
の3台が、フル稼働している

AMIの患者が来院したときは、
循環器内科医、放射線科技師、
臨床工学技師、看護師が駆けつ
けて、PCIを行える体制をとっ
ている



道北における脳神経疾患治療の要

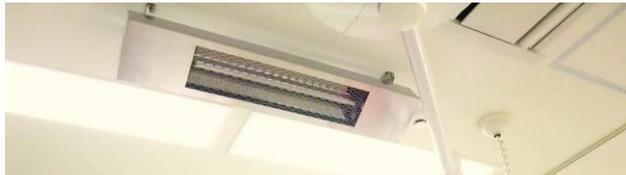


道北における脳卒中、
頭部外傷など重篤な
神経疾患患者さんの
大部分は、当院に救急
搬送され、治療を受け
ております。

最新の手術室（10室）



保温と急速輸血 (ER)



遠赤外線体温保持装置



Warm Touch

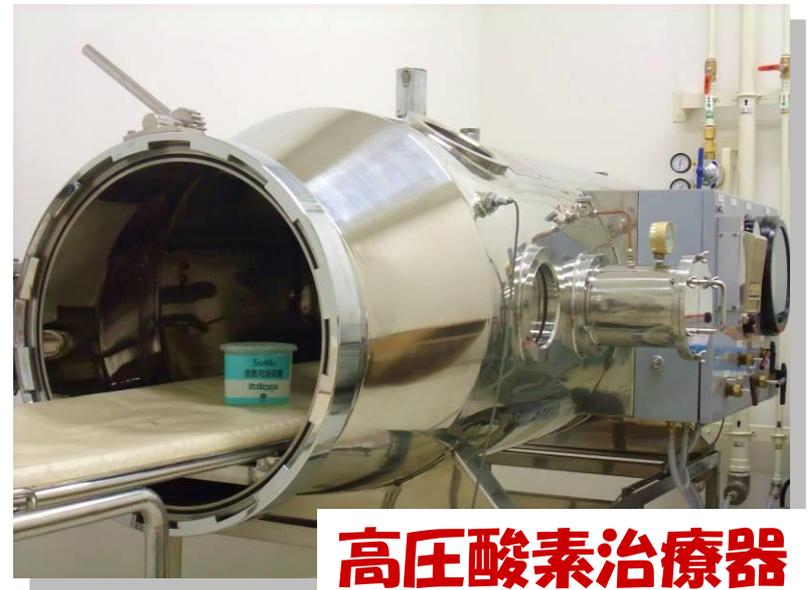


**Level 1 System 1000(右)
輸血(輸液)加温装置(左)**



輸液加温装置

重症熱傷患者 治療



重症熱傷患者に対しては、麻酔科医による全身管理とともに、形成外科医による皮膚移植治療を積極的におこなっている。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

旭川赤十字病院

ICU(3床)／CCU(3床)



看護スタッフ





HCU (High Care Unit) (20床)



ERから入院された患者さんの全身状態が安定するまで、ここで治療を行います。



PCPSごとERから移動



SCU (Stroke Care Unit) (24床)



脳卒中などの重篤な神経疾患で入院された患者さんの治療は、ここで行われます。



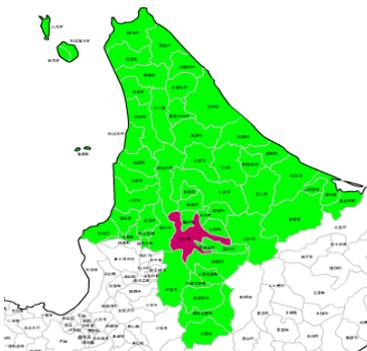


道北ドクターヘリ事業

平成21年10月より、
国と道の補助を受け
当院を基地病院とし
たドクターヘリ事業が
開始されました。

主として、道北圏、北
空知および遠紋地域
の救急患者さんに対応
します。

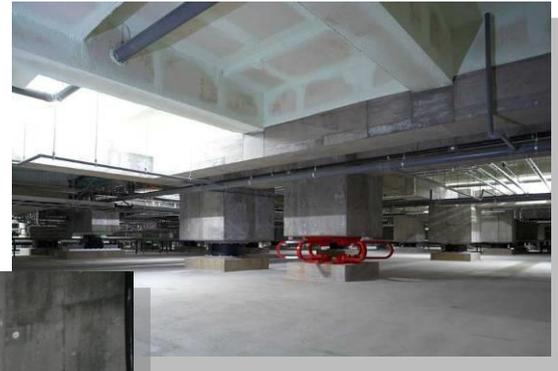
詳細については、「道
北ドクターヘリ事業」の
ページをご覧ください。



屋上ヘリポート



免震構造



地震の際にも災害拠点病院としての機能を維持するために、救命救急センターおよび入院病棟のある新棟は、免震構造となっています。

ホットラインシステム

当院(三次救急)では、市中病院(一次、二次医療施設)及び救急隊の判断により当院救命救急センターへの搬送依頼があった場合、迅速に対応できるよう、「ホットライン」(救急専従医が24時間電話を携帯)を設置している。

- 医療機関の場合：Doctor to Doctor のみ
- 消防機関の場合：救急隊/救急指令 to Doctor のみ

ホットライン
090-0000-xxxx

センター当直医が24時間
三次救急患者の対応を致します



 旭川赤十字病院
救命救急センター



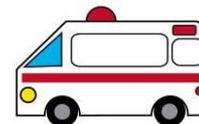


当院のホットラインシステム



医療機関

救急隊



受け入れ
決定

救命救急センターホットライン

ホットライン対応医師によるトリアージ・治療開始

病院日当直医師

専門各科待機医師

- 救急救命士の特定行為に対する On line 指示 -

道北管内および深川の消防隊から要請された場合、
ホットライン対応医師が指示を出します。

心肺停止患者の場合

- ・器具を用いた気道確保および気管挿管
- ・静脈路確保
- ・電氣的除細動：包括的指示→具体的指示へ移行した場合
- ・薬剤投与：エピネフリン投与

アナフィラキシーショックの場合

- ・患者持参のエピクィック投与



Hot Line



麻醉救急集中治療医、救急集中治療医 募集中

救急医療やドクターヘリに興味がある方は、
当院の救命救急センターで共に働きませんか？
病院見学も随時受け付けております。
興味のある方は、ご連絡ください。



また、麻醉救急集中治療の「後期研修コース」も用意されております。

ERには医師研修のエッセンスが集約されており、臨床研修に最適の環境です。
我々とともに、救急医療を学びましょう！

連絡先：TEL 0166 - 22 - 8111(代表)

救命救急センター長 小林 巖 qq@asahikawa-rch.gr.jp

または 人事課 jinji@asahikawa-rch.gr.jp



DMAT